

1989年1月10日

<毎月10日発行>

第116号 8頁 400円

定期購読料（送料込み）

半年 2000円、1年 4000円

赤旗

共産主義者同盟中央機関紙

発行

赤旗社

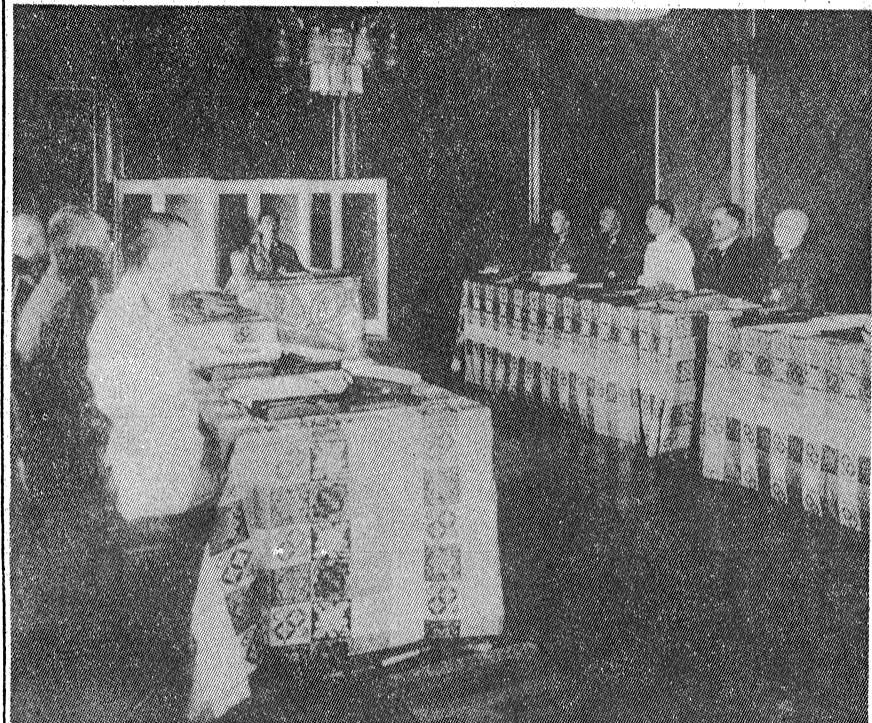
(1980年2月28日第3種郵便物認可)

二・三面…年頭アピール
四面…連帶アピール
五面…韓国・パレスチナ
六面…寄せ場委員会論文
七面…核・原子力と現代帝国主義⑦
八面…三里塚二期一収用決戦方針

東京都下谷郵便局私書箱180号
(関西) 大阪市港郵便局私書箱40号
郵便振替: 東京 9-352128

天皇総動員突き破り

『大喪』を粉碎せよ



天皇ヒロヒトは、このように最高戦争指導者会議を主催した。(1944年暮)

裕仁の即位準備を開始した。警視庁は特別警備本部を設置し、一万五千人の警察官を動員して厳戒体制をした。マスコミは通常報道を中止し、天皇追悼・賛美報道一色と化した。

政府は、明仁の皇位継承の決定、六日間の弔旗掲揚、公式行事の自粛、新元号等を決定し、「大喪の礼」と称する国葬の準備を開始した。

政府は、明仁の皇位継承の決定、六日間の弔旗掲揚、公式行事の自粛、新元号等を決定し、「大喪の礼」と称する国葬の準備を開始した。警視庁は特別警備本部を設置し、一万五千人の警察官を動員して厳戒体制をした。マスコミは通常報道を中止し、天皇追悼・賛美報道一色と化した。

しかし、われわれは、政府・自民党・財界・マスコミ、共産党を除く諸野党および多くのわが国人々の表明する哀悼の辞に、全く同調しないものである。のみならず、官・民あげて裕仁の追悼・賛美、服喪、新天皇の即位に眞向から反対する。

(一)

裕仁および天皇制は第一次世界大戦においてビットラー・ナチスおよびムッソリーニ・ファシスト党と同罪の者である。天皇制専制は、韓国、東南アジアにおいては人民を足蹴にし、朝鮮、中国は人民を足蹴にし、朝鮮、中国、東南アジア諸国を植民地化

侵略の歴史はたんに過去のものではない。日本は今や世界第二の経済大国となり、資本を全世界に投下するまでになった。とりわけ、韓国、東南アジアにおいては労働者を低賃銀と外慈な労働条件の下搾取し、資源を賣いたたき取奪し、公害をたれ流し、暴利を握りつつ、また、すでに保有するに至った世界有数の軍事力を、この権益を保護すべく増強し、海外派兵のため機を伺つてゐる。政府支配階級は、労働者・

われわれ労働者、人民は、資本家の下に経済的に隸従させられ、雇用を強いる。資本家どもはわがわの抵抗がかれら全体の真向から対立する労働者もまた、その国家と民族の成員である」ことを示す巧妙な道筋でとして天皇選舉と議会に頼るからに天皇制の廢止を勝ち得ることはできない。

庄倒的な天皇の追悼・賛美の只中でも、意識ある断固とした反対表明と行動は全国で展開されている。すでに八日金崎で労働者一千名が決起し難波までのデモで庄倒した。わが国での政府・階級、マスコミの大宣伝もかわらず、アジアの諸民族の天皇制の本性の暴露、反撃は全く衰えていない。

国家と独占ブルジョアジーの天皇制を利用した野望をうち砕きるのはプロレタリアートと被抑圧民族・人民だけである。

天皇制大キヤンペーに断固反撃し、戦争遂行国家体制への野望を打碎こう。

労働者とアジアと日本の被抑圧民族の連帯、差別され抑圧されて

(二)

し、これら諸国の支配をめぐり、米・英帝国主義と激突した。この

過程で天皇の軍隊を中心とし、日本帝国主義は殺戮と略奪の限りを尽しました。当然にもムッソリーニ

はイタリア人民の手で死刑され、ナチスの戦争責任は今も追求され

ている。これに比し、裕仁は勝者学者もは、今も天皇の戦争責任の隠蔽に必死である。しかし、歴史の真実を蔽いかくし、この大殺戮と大略奪の責任をのがれることはできない。

アメリカに利用価値を認められた。政府・マスコミ、御用学者もは、今も天皇の戦争責任

はイタリア人民の手で死刑され、ナチスの戦争責任は今も追求され

ている。これに比し、裕仁は勝者

学者もは、今も天皇の戦争責任

はイタリア

転換期の混迷の中に 解放の道を指し示せ

読者の皆さん／同志諸君！

一月七日、天皇裕仁が死に、敵のX-1攻撃が始動した。日帝が、米帝の世界戦略下アジアに向けた再度の軍事侵略の発動に備え、天皇の代替りをテコに「国民総動員体制の形成へ本格的に踏みだしたのである。天皇制の「威力」がいかなものか、今日の時代に通用するか否か、この一年の階級攻防の結果として結論が出されよう。

我々は今、世界史的見ても、重大な転換点に立っている。米帝の圧倒的な軍事・政治・経済力を条件に形成され、維持された西側帝国主義の國際反革命体制と、これに対抗して世界を一分してきたソシ帝が、いま世界史的地震変動に見舞はれようとしているのである。相対立世界を分割してきた米・ソ両超大国は、經濟的的土台が腐れ、軍事的霸權の将来にも不安が出てくる事態に至り、中国をも引き入れたブルジョア世界の「歴史的和解」劇を演じ、結託して戦後世界支配体制を維持せんと必死になつてゐる

しながら、それは、帝国主義の不均等発展・世界市場再分割の側面であり、日帝が急速に台頭しアジアに霸權を求める、ヨーロッパが一九九一年の市場統合へと動く事態と、対にその飛躍的激化をもたらさずにはおかないのである。そして何よりも、帝国主義、社会帝国主義の世界体制を根底から動かす動きが、新

めだしたのである。

天皇X-1攻撃と真向から対決し、三重壕で敵を撃破し、

帝國主義との熾烈な闘争の真只中で、韓国・フィリピン・金界界

で闘う労働者人民と团结し、日帝打倒・米帝一掃・社会主義革命

を自指す全民の戦闘的隊列を建設しよう。

（一）

軋み揺れる帝国主義

八年代初頭より、米帝は、軍備増強、民族解放と革命への露骨極まる反動攻勢、ソ連との世界支配をめぐる「ガモニー争奪」を強化する。

ソ連の「民主化」による譲歩・分断・懷柔での乗り切りを余儀なくされてしまった。

八〇年代末には、日欧帝國主

義の力の動員を基軸に、修正主義

中国との準同盟關係でこれを補完

し、またその後半期には、当のソ

ガノ政権前半期には、日欧帝國主

義の力の動員を基軸に、修正主義

テナ・アメリカの新殖民地支配においても、強圧的手段を基本としな

がら、「民主化」による譲歩・分

断・懷柔での乗り切りを余儀なく

されてしまった。

八〇年代末には、日欧帝國主

義の力の動員を基軸に、修正主義

テナ・アメリカの新殖民地支配においても、強圧的手段を基本としな

(二面より)

造の形成によって保持しつつ、尚かつ膨張する日帝の経済力を社会的、軍事的導權の確保および経済の要所を握る形での環太平洋主義構成が強めている。このように米帝は、日帝に対する一定の支配を、抑圧の領域で浪費させ、利用しようとしているのである。

これに対して日帝は、次のように政治方向に進もうとしている。

第一に、米帝の世界戦略の枠内で、したがつて日米共同作戦体制を強化しつつ、海外派兵にむけた内外の環境づくりを行なうとしている。

まず注目すべきは、日本開拓でなく同時に他地域でも戦うとしている。新規民地支配への「功献」を擴大すると共に、「平和協力」を名分とした「紛争」地域への「人道的援助」を積極的に奮闘しているのである。

三重環状空港の完成は、日帝の侵略戦争準備の重要な柱の一つだ。既に日帝は、侵略戦争にむけた国民総動員体制を、天皇X²攻撃下本格的に形成せんとしている。古来奴隸制社会においているが、この形態での新規民地支配への「功献」を一層擴大すると共に、「平和協力」を名分とした「紛争」地域への「人道的援助」を積極的に奮闘しているのである。

既にブルジョアジーが、国軍総動員体制の頂点に据え切ろうとしている。

天皇裕仁の帝国主義的蛮行を隠蔽し、天皇と天皇制を賛美し、天皇貢じ、国民一人ひとりに、軍旗揚げ、儀式への参加、黙悼、体業歌舞音曲の禁止等々を強要し、天皇への忠誠の踏み絞とした。日帝は、X²攻撃下で、国内主革命闘争が不屈かつ強大であり、アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

少数民族と被差別大衆の政治的武裝解除と全国民の排外主義政治活動を策している。

こうした国民総動員体制の形成によって末端の推進軸となるのが地方行政組織と教育機関である。

1 「ふるさと創生」の推進軸

船解体攻撃を目的意識的に展開し

第二に日帝は、戦争遂行国家体

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

連合による総評吸收で正念場の労働運動

労働者階級は、金融独占資本の一環化した。F.A.C.化により事務職の地位が急速に低下した。労働者階級の大層分化が進み、外国人労働者の大半がはじまつた。こうして、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

(八) 天皇総動員突き破り

失業者を生み出し、一千万人をこえる産業備軍を輩出した。それとともに、終身雇用・年功制賃金の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

一方で大資本が空然の利益をあげたが既成の大組合は、社会排外主義(労働貴族)の影響と統制下に「連合」=現代版産業報国会と

その支配力を国際的規模で強めて縮小再建、共産党の集団組織化され、貧困、肉体的精神的磨滅、あらゆる種類の隸属、社会的悲惨の増大に苦しんでいた。資本は、

(六) 翼賛化深め鬪えなく

公明の両党は、天皇制の前に敬々天皇裕仁の死に直面し、民政公明の強化がこのようであるとき我々は次のように聞く。

①我々は、米帝を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

②我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

③我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

④我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

⑤我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

⑥我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

⑦我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

⑧我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

⑨我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

⑩我々は、天皇制を頭目とする西側帝国主義の國際反革命体制とソ連社会帝国主義を全世界のプロタリアー・被抑圧民族と团结して打倒する路線――今日的復権したアジア世界革命の立場を鮮明にし、天皇と天皇制を賛美し、天皇への忠誠の踏み絞とした。アジアにおいては、反革命民族民衆を建設してゆかねばならない。

(七) 「左」右の偏向の克

以上の国家・社会再編と運動に反動的諸法規改悪が、拘禁法・税法をかかる為、この四月から実施を通達した。彼らは、地方行政組織を翼賛ネットワーク運動づくりに、翼賛ネットワーク運動の組織体攻撃、革命派の大衆基礎を策している。

（二面より）

